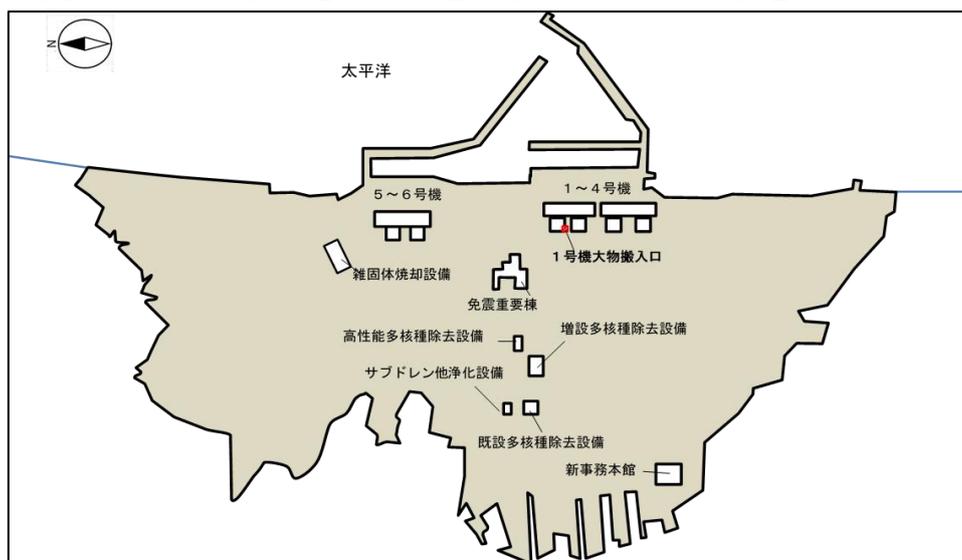


福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日
令和5年2月8日（水）
- 2 確認箇所
1号機原子炉建屋大物搬入口2階（1号機原子炉建屋3階）
- 3 確認項目
RCW熱交換器入口ヘッダ配管からの滞留ガスパーージ作業状況
- 4 確認結果の概要

1号機原子炉建屋における原子炉補機冷却系（RCW）熱交換器の内包水抜き取り作業にあたり、RCW熱交換器入口ヘッダ配管内に、可燃性ガス（水素）等が存在することが確認され、配管内に溜まった滞留ガスを原子炉建屋内に希釈放出する作業が進められていることから、作業状況を確認した。（図1）（前回確認：[令和4年11月28日](#)）

- ・現場確認時、窒素パーージによりヘッダ配管内の滞留ガスの希釈作業が行われており、直近の成分濃度測定結果を確認したところ、水素濃度は可燃性限界（4%）を下回っていた。（写真1）
- ・操作室には内包水サンプリングに向けた機械式穿孔作業用の操作盤が準備されていた。（写真2）
- ・東京電力では、熱交換器内の内包水のサンプリングを実施して放射性物質濃度を確認し、濃度に応じて内包水を希釈した上で移送するとしている。



（図1）福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
遠隔操作室内の状況



(写真1-2)
遠隔操作室内のモニタの状況



(写真2)
穿孔作業に使用する操作盤

- 5 プラント関連パラメータ等確認
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。